

| 関連科目〈こども関連科目〉 | クラス | | 科目コード | 配当年次 | 期 間 | 人数制限 |
|---------------|-----|----|--------------|------|-----|------|
| 初等英語 | | | 17511 | I | 秋 | |
| 担当者名 | 区分 | 単位 | 科目と関係のある実務経験 | | | |
| 高田 悦子 | 選択 | 2 | | | | |

授業の到達目標

小学校外国語活動・外国語科の学習指導の知識、第2言語習得の基礎的な知識、授業に必要な英語コミュニケーション能力、教材や評価の基礎知識を、小・中・高等学校の連携も視野に入れて身に付ける。
このクラスでは、KAISEIパーソナリティのI（知性）を養う。

授業の概要

学習指導要領における「3つの資質・能力」を踏まえた「5つの領域」及び各領域を支える音声、文字、語彙・表現、文法、小学校の外国語教育に必要な基礎的な知識を、以下の「授業計画」の具体的な項目に従って身に付ける。毎回「10分間 Classroom English」を行う。

授業計画

1. 小学校英語教育の目的(1) 小学校学習指導要領の理解
2. 小学校英語教育の目的(2) 世界の言語政策事情
3. 小学校英語教育の目的(3) 異文化理解
4. 小学校英語教育の目的(4) 児童文学
5. 第2言語習得研究(1) 年齢と言語習得
6. 第2言語習得研究(2) 学習と環境
7. 第2言語習得研究(3) 学習者要因、指導者要因
8. 第2言語習得研究(4) 児童期の第2言語習得における語彙習得
9. 第2言語習得研究(5) 児童期の第2言語習得における文法習得
10. 第2言語習得研究(6) 児童期の第2言語習得における音声習得
11. 技能の育成(1) リスニング
12. 技能の育成(2) スピーキング
13. 技能の育成(3) リーディング
14. 技能の育成(4) ライティング
15. まとめ、小学校英語指導に求められる資質と能力

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法

平常点30%、プレゼンテーション30%、定期試験40%

テキスト

英語科教育のフロンティア―充実した実践を目指して―（青木昭六編著、保育出版社）
小学校英語の教育法 理論と実践（アレン玉井光江、大修館書店）

参考図書

小学校学習指導要領解説 外国語編〔最新版〕（文部科学省）
その他、必要に応じて、随時紹介する。

| 関連科目〈こども関連科目〉 | クラス | | 科目コード | 配当年次 | 期 間 | 人数制限 |
|---------------|-----|----|--------------|------|-----|------|
| 初等体育 | ①/② | | 17513 | II | 秋 | |
| 担当者名 | 区分 | 単位 | 科目と関係のある実務経験 | | | |
| 木岡 正雄 | 選択 | 2 | 公立小学校教員 | | | |

授業の到達目標

小学校学習指導要領、及び幼稚園要領に基づき、教材の実技を体験する。教材の概略を知って、運動学習の工夫を学ぶ。グループワークを通してKAISEIパーソナリティK（思いやり）とA（知性）、S（奉仕）の育成を目指す。

授業の概要

小学校体育の教材内容を実技を通して、運動の楽しさを感じ取る。またグループ活動を通じて、他への思いやりや仲間とのつながりの大切さを学ぶ予定である。

授業計画

1. オリエンテーション。自己紹介。運動学習について概略を講義する。
2. 体づくり運動 体ほぐしの運動の実技をする。
3. 体づくり運動 体力を高める運動の実技をする。
4. 陸上運動系 かけっこの実技をする。
5. 陸上運動系 障害走の実技をする。
6. 陸上運動系 リレーの実技をする。
7. 器械運動系 マット運動の実技をする。
8. 器械運動系 跳び箱の実技をする。
9. 器械運動系 鉄棒の実技をする。
10. ゲーム 鬼遊びのゲームをする。
11. ボール運動 ベースボール型のゲームをする。
12. ボール運動 ネット型のゲームをする。
13. ボール運動 ゴール型のゲームをする
14. ボール運動 ゴール型のゲームをする。
15. 学習のまとめ。体育学習の工夫等について講義する。

授業の方法

体育の実技を行う。グループ活動を主として、自ら運動の工夫を話し合い、ともに楽しく運動する予定である。

準備学修

文部科学省 小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 体育篇」を読み、体育指導について、事前学習及び、復習等を60時間行

う。

課題・評価方法

平常点30点、毎時の小テスト（学習カード等）70点

欠席について

欠席はなるべくしない。実技なので参加することに意義がある。

参考図書

文部科学省 小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 体育篇
平成23年版神戸市小学校学習指導のてびき

留意事項

登校できるなら欠席をしない。見学も学習であることを学ぶ予定である。

教員連絡先

〒651-2277 神戸市西区美賀多台4-7-20
自宅電話&Fax 078-962

| 関連科目〈資格関連科目〉 | クラス | | 科目コード | 配当年次 | 期 間 | 人数制限 |
|--------------|-----|----|--------------|------|-----|------|
| 初等体育科指導法 | | | 17745 | Ⅲ | 春 | |
| 担当者名 | 区分 | 単位 | 科目と関係のある実務経験 | | | |
| 木岡 正雄 | 選択 | 2 | 公立小学校教員 | | | |

授業の到達目標

体育科の学習指導案を作成することができて、模擬授業を行う力を養う。また、授業観察力を培う。グループワークを主として行い、KAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）、S（奉仕）の育成を目指す。

授業の概要

小学校体育科の目標、指導計画、学習指導法、教材内容の扱い方等を把握する。理解した知識を基に学習指導計画を立て、模擬授業を実施する。また、授業を観察するポイントを理解する。

授業計画

1. オリエンテーション。体育科の目指す授業について
2. 小学校学習指導要領、体育編の内容を知る。
3. これから目指す体育授業について。運動の特性について
4. 低学年の目標と学習内容について
5. 中学年の目標と学習内容について
6. 高学年の目標と学習内容について
7. 学習指導案の書き方について
8. 指導案を作成する。①
9. 指導案を作成する。②
10. 指導案を作成する。③
11. 模擬授業を実施する。①
12. 模擬授業を実施する。②
13. 模擬授業を実施する。③
14. 模擬授業を振り返る。学習評価について。
15. 学習のまとめ。これからの体育学習について

授業の方法

小グループでの話し合い、調べ学習、作業等を主とする。体育の実技も実施予定である。

準備学修

文部科学省 小学校学習指導要領（平成29年告示）
文部科学省 小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 体育編等
を読み、学習指導計画案等を事前に調べ、予習・復習等60時間を

費やすこと。

課題・評価方法

- ①学習指導計画案と模擬授業について、評価とアドバイスを行う。
- ②評価方法は平常点30点、学習指導計画案40点、模擬授業30点とする。

欠席について

原則欠席をしないこと。登校できる程度なら見学でも出席すること。

テキスト

文部科学省 「小学校学習指導要領（平成29年告示）」と「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 体育編」

参考図書

新しい体育授業の運動学 三木四郎 著 明和出版
平成23年版神戸市小学校体育指導の手引き

留意事項

実技も実施するので、運動のできる服装の用意をする。

教員連絡先

〒651-2277 神戸市西区美賀多4-7-20
自宅電話番号&Fax 078-961-4362

| 関連科目〈資格関連科目〉 | クラス | | 科目コード | 配当年次 | 期 間 | 人数制限 |
|--------------|-----|----|--------------|------|-----|------|
| 道徳教育指導論 | 教職小 | | 17749 | Ⅱ | 春 | |
| 担当者名 | 区分 | 単位 | 科目と関係のある実務経験 | | | |
| 大岸 啓子 | 選択 | 2 | 公立小学校教員 | | | |

授業の到達目標

小学校「特別の教科 道徳」の目標と内容、指導計画、学習指導法等について、基礎的な理論と指導技術を修得する。このクラスではKAISEIパーソナリティのA（自律）とE（倫理）の育成を目指す。

授業の概要

道徳教育の目標と内容、授業方法、指導計画、資料の扱い方等、小学校における道徳の指導法を把握するための講義と演習を行う。また、学習指導案作成や模擬授業を通して、実践的な指導力を身に付ける。

授業計画

1. 受講の心構え・授業内容についてのガイダンス、道徳教育の基礎理論
2. 道徳教育の歴史
3. 道徳性とは何か
4. 道徳の目標と内容
5. 道徳性の発達理論と道徳教育
6. 道徳教育の計画
7. 道徳科の学習指導
8. 道徳教材の活用
9. 道徳科における問題解決的な学習
10. 道徳科における体験的な学習
11. 道徳科の授業展開
12. 道徳の評価
13. 模擬授業（低学年）
14. 模擬授業（高学年）
15. これからの道徳教育の課題

授業の方法

発表とディスカッションを多く取り入れる。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法

- ①指導案と模擬授業について、批評とアドバイスを行う。
- ②授業への参加度30%、定期試験70%とする。

欠席について

欠席は5点減点し、遅刻は2点減点する。

テキスト

柳沼良太『道徳の理論と指導法』図書文化社
文部科学省『小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編』廣済堂あかつき

参考図書

必要に応じて、授業中に随時紹介する。

留意事項

出席と授業態度（模擬授業の準備や提出物を含む）を重視する。道徳の指導法を身に付けようとする意欲をもって授業に臨むこと。

教員連絡先

ogishi@kaisei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲掲示板を確認のこと。